

# 北栄町地域ケア会議の取組状況について

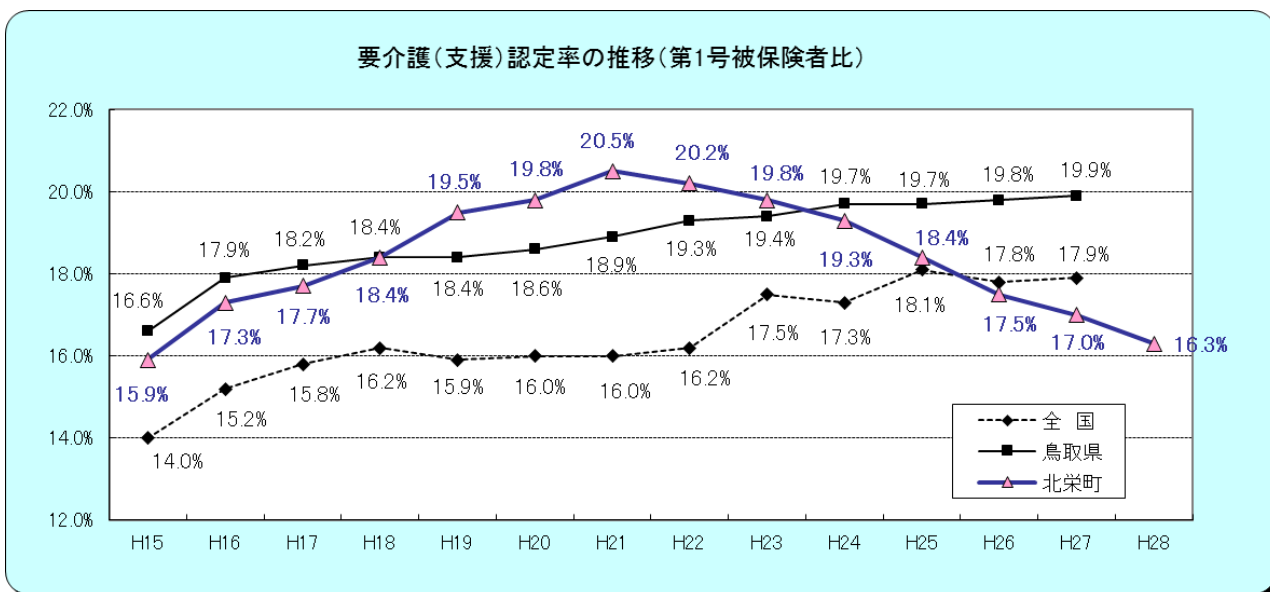
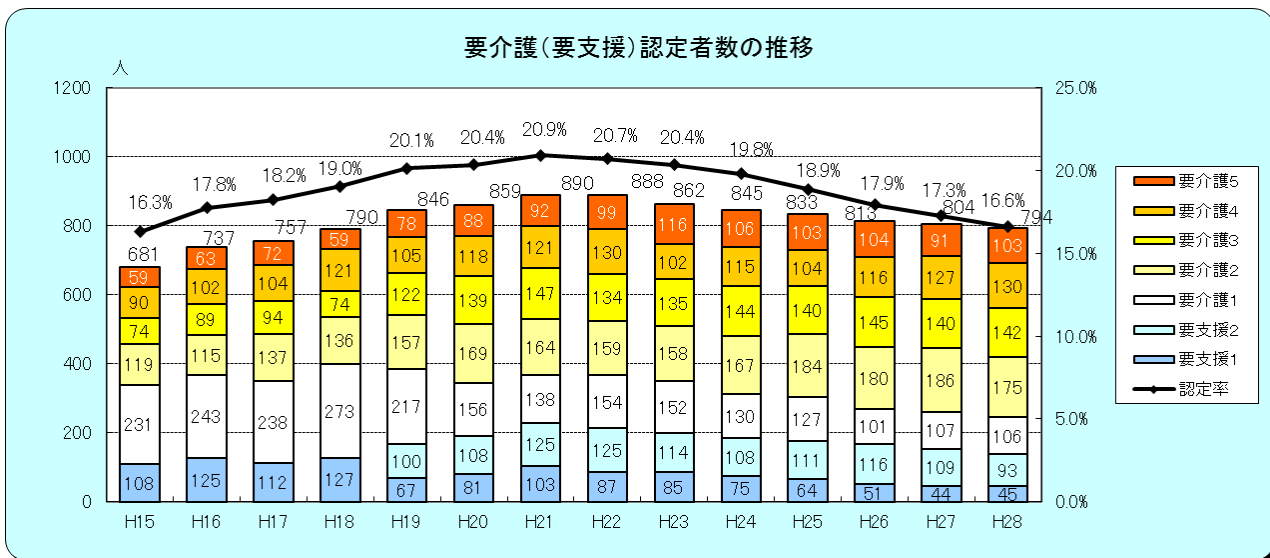
## 1. 北栄町の現状（平成28年4月1日現在）

- 総人口 15,406人
- 高齢者数 4,785人
  - ・65歳以上75歳未満 2,289人
  - ・75歳以上 2,496人
- 高齢化率 31.1%（鳥取県高齢化率 27.8%）

\*介護保険室算出（住民基本台帳上の数値とは異なる）

\*鳥取県の高齢化率は、H25.10.1現在

## 2. 要介護（要支援）認定者数等の推移



### 3. 地域ケア会議の実施状況

#### (1) 目的

- ①地域の高齢者の様々なニーズに対し、最も効果的なサービス（保健・医療・福祉等、インフォーマルサービスを含む）を総合的に調整し、高齢者の自立支援を目指す。
- ②地域課題を把握し、既存事業の見直し等につなげる。

#### (2) 開催状況

- ① 開催頻度 月2回（第2・4火曜日午後）  
\* 1 ケース 30分程度の短時間で検討。
- ② 対象ケース
  - ・ 要支援認定の新規利用時、1回目の評価時
  - ・ 介護予防・生活支援サービス事業の利用者
  - ・ その他（要介護認定者、困難ケース等）

※要支援認定のケースを中心に検討している。要支援の新規認定ケースは全ケースを対象（福祉用具貸与のみのプランを除く）

#### ③ 出席する専門職

- (助言者)
- ・ 理学療法士または作業療法士（外部助言者）
  - ・ 歯科医師（外部助言者）
  - ・ 社会福祉協議会地域福祉担当・生活支援コーディネーター（外部助言者）
  - ・ 福祉課長、介護保険担当者、高齢者福祉担当者
  - ・ 保健師、管理栄養士
  - ・ 認知症地域支援推進員
  - ・ 地域包括支援センター職員
  - ・ その他必要な者（生活保護ワーカー、障がい担当等）

(ケースの担当者)

- ・ 担当介護支援専門員
- ・ 福祉サービス事業者
- ・ その他利用者支援に関わっている者

#### ④ 取扱い件数

年度	件数	備考
22年度(8~3月)	35件	地域支援事業、困難ケースも含む
23年度	61件	要支援認定者(新規・評価) 21回開催(平均3件/1回)
24年度	73件	20回開催(平均3.7件/1回)
25年度	60件	24回開催(平均2.5件/1回)
26年度	73件	24回開催(平均3件/1回)
27年度	48件	20回開催(平均2.4件/1回)

\*22年度中は鳥取県モデル事業

### (3) 実施効果

生活機能に着目した課題分析、目標設定を行い、自立支援に対する介護支援専門員、サービス事業所の意識が高まっている。特に地域ケア会議への提出頻度の高い事業所に関しては、自立支援の観点で現行のプログラムを見直し、自主性の高いリハビリプログラムを用意するなどして、自立支援に力を入れている。

地域ケア会議開始前の平成21年度をピークに認定率が下がり、介護予防給付費の減少も認められている。

#### 【実施の効果】

- ① 自立支援に対する意識の向上
- ② 自立を阻害する要因・課題が整理でき、生活の具体的な改善につながる支援に変化
- ③ マネジメントの不足している点が明確になり、介護従業者の資質向上につながる。
- ④ チーム内の支援方針の共有化、連携の強化
- ⑤ 地域の課題発見、既存事業の見直し・必要な事業の情報蓄積の場となっている。

## 4. 課題

- ① 介護予防に関する住民理解をさらにすすめていく必要がある。
- ② 地域支援事業の見直し、介護予防・生活支援体制の構築（高齢者の活動場所や介護保険卒業者の受け皿づくり、高齢者の生活を支えるしくみなど地域包括ケアの実現に向けた検討）